北海道医師会館９階理事会室

第25回常任理事会

日　時　令和２年３月10日(火) 18：00 ～ 18：57
場　所　北海道医師会館９階・理事会室
出席者　長瀬会長、深澤・藤原・佐古各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・山科・岡部・伊藤・生駒・笹本・櫻井・青木・荒木各常任理事、藤瀬・外園両監事
（事務局：安達事務局長ほか12名）

協議事項

第１号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（櫻井常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座４件を承認することと決定。

第２号　北海道医師会職制の一部改正に関する件（目黒常任理事）

令和２年度より事業課を１課新設することに伴い、職制の一部改正を行うことと決定。

第３号　職員の人事異動に関する件（長瀬会長・目黒常任理事）

４月１日から施行する事務局人事案を承認し、４月18日（土）開催予定の第１回理事会に諮ることと決定。

報告事項

１．産業保健各種研修会［令和元年度］について（生駒常任理事）

産業保健研修会４ヵ所、産業医学基礎研修会（前期・後期各１回）ならびに産業医学実践研修会（実地）と郡市医師会に委託しているリフレッシュ研修、スキルアップ専門・実地研修を８ヵ所（新型コロナウイルスの影響による開催中止１回分除く）で開催した。受講者総数は1,068名であった。

２．医療事故防止研修会［12月４日（水）・２月21日（金）］について（岡部常任理事）

予期せぬ死亡事故を防止するため、医師、看護師、弁護士のそれぞれの立場から具体的な事例を交えつつ解説があった。本研修会は日本専門医機構専門医共通講習の医療安全２単位として開催した。旭川市と帯広市の両会場の出席者総数は109名（うち医師52名）であった。

３．認知症サポート医等フォローアップ研修事業について（藤原副会長）

北海道地域医療介護総合確保基金事業（介護分）を活用し、全道の認知症サポート医の資質向上等を目的とした認知症サポート医フォローアップ研修（札幌市開催・94名参加）と、地域の認知症に係る医療・介護・福祉の多職種の連携を目的とした認知症多職種連携検討会（釧路市開催・93名参加）を開催した。今後とも所期の目的を達成すべく道内数ヵ所において開催予定。

４．第25回日本災害医学会総会・学術集会［２月20日（木）～22日（土）・神戸市］（目黒常任理事）

兵庫県災害医療センター・中山センター長が会長となり「これでいいのか、災害医療！」をメインテーマに開催された。会長講演、特別講演、招待講演、教育講演、阪神・淡路大震災25年特別企画、シンポジウム、パネルディスカッション等が行われ、参加者は約2,400名であった。次回は、来年３月15日(月)～17日（水）に東京都で開催予定。

５．新型コロナウイルス感染症に関する医師会の対応に関する合同記者会見［３月１日（日)］について（長瀬会長）

新型コロナウイルス感染症に関して医師会の取り組みを道民に知っていただくことを目的に、当会、日本医師会のほか、地域の医師会を代表して札幌市医師会との合同記者会見を実施した。日本医師会・中川副会長、小職、札幌市医師会･松家会長の順に、各団体の取り組みについて説明した後、質疑応答を行った。本記者会見には、北海道保健福祉部から廣島医療参事に同席いただいたほか、報道機関12社が出席した。

６．都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会［３月４日（水)･TV会議］について（藤原副会長）

厚生労働省老人保健福祉局老人保健課・眞鍋課長から「介護保険制度改正」について、日医・江澤常任理事から「介護保険制度改正と医師会・かかりつけ医への期待」について説明があり、事前提出の質問について回答があった。本協議会は新型コロナウイルス感染対策により、テレビ会議システムにより中継された。参加者は217名であった。

７．第２回都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会［３月６日(金)・TV会議］について（三戸常任理事）

日本医師会・釜萢常任理事から、PCR検査の保険適用に係る基本的な考え方や、都道府県における調整の方法などについて報告があった。その後、協議では、北海道、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、和歌山県の各医師会から、各地の現状や課題等について説明があり、質疑応答が行われ、小職から不足しているマスクや消毒液などの医療物資の確保等について要望した。次回は３月13日（金）に開催予定。

８．外部各委員会報告

⑴　北海道医療安全推進協議会［２月20日（木）］について（岡部常任理事）

医療相談対応事例について説明があった後、各委員より所属団体の取り組み等について報告があった。当会からは、医療事故防止研修会ならびに医療事故調査制度に係る取り組みについて説明した。その後、令和２年度の北海道医療安全推進方針について協議を行い、承認された。

⑵　東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の札幌開催に係る医療・救護体制検討会議［３月４日（水）］について（目黒常任理事）

札幌市内で開催される競技において、医療・救護体制の整備を目的に、当会、高度救命救急センター（札幌医科大学附属病院）、札幌市医師会、北海道、札幌市で構成する会議体が札幌市に設置された。委員長に札幌医科大学医学部救急医学講座・成松教授、副委員長に札幌市医師会・白崎理事を選出し、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から医療サービスに関する説明があった。その後、沿道等における医療・救護計画の策定に関して意見交換を行い、日常の救急医療体制の確保のほか、大会開催時のテロ対策を含めた災害医療対策等について、今後の検討事項や課題を抽出した。次回は４月に開催予定。

⑶　第４回北海道DMAT等検討ワーキンググループ［３月４日（水）］について（目黒常任理事）

DMAT指定医療機関指定及び災害拠点病院指定の今後の方針案を協議した後、北海道DMAT設置運営要綱の改正について、SCU（航空搬送拠点臨時医療施設）の開設、出動時の隊員構成などの説明があり、意見交換を行った。

第26回常任理事会

日　時　令和２年３月24日(火) 18：00 ～ 18：48

場　所　北海道医師会館９階・理事会室

出席者　長瀬会長、深澤・藤原・佐古各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・笹本・櫻井・青木・荒木各常任理事、藤瀬・外園両監事（事務局：安達事務局長ほか12名）

協議事項

第１号　北海道いじめ調査委員会委員の推薦に関する件（目黒常任理事）

北大児童思春期精神医学分野の齊藤卓弥特任教授を推薦することと決定。

第２号　母体保護法指定医師の指定に関する件（目黒常任理事）

３月18日の審査委員会において指定可とされた新規申請者１名、再審申請者２名を指定することと決定。また、施設変更に伴う申請１件を承認。

第３号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（櫻井常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座６件を承認することと決定。

第４号　第156回臨時代議員会［３月15日（日）］の開催中止に関する件（目黒常任理事）

開催を延期していた第156回臨時代議員会（３月15日開催予定）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とし、予定されていた議題ならびに報告は、６月に開催予定の第157回定時代議員会において行うことと決定。

第５号　第１回理事会の書面開催（みなし決議）に関する件（目黒常任理事）

４月18日に予定されている第１回理事会は、新型コロナウイルス感染症が世界的な規模で蔓延している現状を鑑み、開催は難しいと判断し、法人法第96号および北海道医師会定款第43条３項により、書面開催による「みなし決議」とすることと決定。

第６号　その他

⑴　４月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会［３月11日（水）・TV会議］について（水谷常任理事）

厚生労働省医政局看護課・島田課長ならびに看護サービス推進室・習田室長より、看護職員をめぐる最新の動向として、「看護基礎教育カリキュラム改正」「看護師特定行為研修」等について説明があった。その後、日医医療関係者検討委員会の近藤委員長（大分県医師会長）から、会長諮問事項の「准看護師の活用推進と今後の対策」では准看護師養成所の准看護師入学資格を高校卒業程度とすること、准看護師資格を国家資格に格上げし、地位向上を目指すことを挙げ、「医療・介護人材の国際化の流れについて」では外国人材受け入れには課題が多いため、プラチナ人材による外国人材に対する指導者としての活躍を期待しているとの報告があった。また、日本医師会・釜萢常任理事より、日医作成PR動画、日本准看護師推進センター、日本医師会認定医療秘書について情報提供があった。TV会議参加者は206名であった。

２．都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会［３月13日（金）ならびに３月19日（木）・TV会議］について（荒木・三戸両常任理事）

第３回協議会では、３月９日の国の専門家会議による新型コロナウイルス対策についての現状認識を共有したほか、「地域における帰国者・接触者相談センターに対する支援体制の構築」「新型コロナウイルス感染症が疑われる者の診療に関する留意点」「医療機関へのマスクの配布とマスク等の需要に係

る調査」など10項目について説明があった。その後の質疑応答では、マスク等に関して一般医療機関まで流通していない現状であるため、長瀬会長から「流通が滞ることなく早急に入手が可能となるよう国に要望してほしい」と発言した。第４回協議会では、「地域の流行状況に応じた医療提供体制の整備」「濃厚接触による自主的な就業制限、休診に関する日本医師会の考え方」など５項目について説明があった後、意見交換を行った。次回は３月27日に開催する予定。

３．緊急臨時的医師派遣事業第４回運営委員会［３月19日（木）］について（藤原副会長）

本事業の一部見直し（医師少数区域に限り派遣期間の上限を撤廃すること、報償費単価を見直すこと）について道議会議決を得た後、４月１日より施行予定であることが報告された。また、2020年度上期に係る医師派遣依頼について協議を行い、センター病院・原子力災害医療協力機関からの依頼は新規１件、継続13件、診療体制縮小・確保等の理由による適用中止３件、医師少数区域からの依頼は継続３件、その他医療機関からは継続１件、診療体制の確保による適用中止の１件が承認された。

４．日医理事会報告（長瀬会長）

第３回都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会の件、第87回日本医学会定例評議員会の件、第８回オンライン診療の適切な実施に関する指針の見直しに関する検討会の件、第７回医師の働き方改革の推進に関する検討会の件、第126回社会保障審議会医療保険部会の件、第176回社会保障審議会介護給付費分科会の件等の報告と、令和元年度日本医師会会費減免申請の件等につき協議した。また事前の理事打合会において、代議員会中止を受けて、医療者の就業制限、医療計画の見直し等に関する検討会について、医師の働き方改革における評価機能についての意見交換を行った。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

５．各部報告

⑴　北海道医学大会オンライン化について（櫻井常任理事）

北海道医学大会のプログラム冊子・抄録集のオンライン化について、「北海道医学大会オンライン検討委員会」（委員長：札幌医科大学・大西教授）で議論を重ねた結果、アプリを導入することとなった。なお、第100回（2020年）・第101回（2021年）北海道医学大会で一部の分科会でアプリを試行導入し、第102回（2022年）から全ての分科会による完全オンライン化を目指す予定。

道医の動き

３月11日　都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会［TV会議］
３月13日　北海道厚生局・北海道との打合せ、都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会［TV会議］
３月17日　日医理事会［TV会議］
３月19日　都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会［TV会議］
３月23日　三役会
３月24日　第26回常任理事会、新型コロナウイルス感染症対策本部会議
３月25日　医事紛争処理委員会
３月27日　都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会［TV会議］
４月３日　都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会［TV会議］
４月６日　三役会
４月７日　第１回常任理事会、新型コロナウイルス感染症対策本部会議、広報委員会
４月８日　緊急事態対応における北海道医師会・病院団体等との連携体制強化に関する打合せ
４月10日　北海道厚生局との打合せ、都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会［TV会議］